

北陸インバウンド観光DX推進事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 北陸3県では、北陸新幹線の敦賀延伸を受けて3県連携で観光振興、特にインバウンドの周遊促進に取り組む機運が高まっている
- ・ 富山県の「TOYTOS」、石川県の「Milli」、福井県の「FTAS」等、各県それぞれのDMPにてデータの取得・オープン化・活用が進んでいるが、北陸3県にまたがるインバウンドの移動や消費に係る実態は把握できておらず、データに基づいた施策検討・取組実行が不十分
- ・ 本事業では、インバウンドの移動及び消費に係るデータを3県共通の手法で収集しオープンデータ化する。3県における観光施策の検討や事業者・行政・DMO等におけるマーケティング施策の検討等においてオープンデータを活用し、3県共通でのターゲット設定や観光コンテンツの磨き上げ等のインバウンドの誘客促進・消費拡大に寄与する取組につなげる
- ・ 北陸3県一体でインバウンドデータを活用しマーケティングを行うことで、広域での周遊促進・滞在時間の延長による消費拡大を目指す

事業概要

北陸3県におけるインバウンドの移動及び消費に係るデータを、スマートフォンのMACアドレス検知やAIカメラ、アンケート等を通じて取得する。国や統計等の既存のインバウンドデータも含めて「北陸観光DXポータル」にて可視化・オープンデータ化し、地域の事業者・行政・DMO等がデータを活用して施策やマーケティング等を検討・実行できるよう、伴走支援や勉強会等を通じてサポートする。

取組エリア:富山県、石川県、福井県

コンソーシアム名:北陸インバウンド観光DX・データコンソーシアム
(代表事業者:国立大学法人金沢大学)

実証内容

- 1.北陸3県でのインバウンドの移動・消費に係るデータの取得を通じた現状把握
- 2.事業者・行政・DMO等に向けたデータの可視化・オープン化
- 3.データを活用した施策によるインバウンドの誘客促進・消費拡大
- 4.勉強会でのデジタル人材育成

目標値

KGI 北陸観光DXポータルユニークユーザー数(累計1,000人)

KPI データセット数(4つ)

